



2006年1月

明治大学校友会

福岡支部だより

● 17号 ●

明治大学校友会福岡市支部事務局 / 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2 セントラルホテルフクオカ内 TEL092-712-1212



生田校舎
と
和泉校舎



生田校舎

新春萬歳

古賀愛人
支部長



和泉校舎



支部長挨拶

“みなさん新年おめでとうございます。”

明治以来の永い伝統と歴史の上に築きあげられてきた明大も、新しい時代の流れと共に駿河台を制する近代的大学として、さらに注目されてきましたが、その舞台裏にあって大学の充実と発展を祈ってきた校友会も、韓国と台湾の隣国二つの支部を含めた新しい五十六県支部体制に切り換え、既に三年を経過してきたことは、みなさん御存知の通りです。唯そのためには校友会館を現状の様な形だけのものではなく、さらに一歩も二歩も進めて、“大学と校友会と学生の父母会”が三位一体となって、大学の発展と充実をさらに押し進めてゆく“シンボリック性格のもの”として活用し、運用されてゆくものでなければならないとして、その建設を全国の校友（大学に記録されている校友は四十五万人だが、そのなかで住居が大学と校友会に把握されている校友は残念ながら三十一万人です）に呼びかけて十億円を集め、これを基金に大学側が責任を以って、その役割を果たし得る立派な校友会館を建設する仕組になっているのです。

“現状はいまどの程度進んでいるの？”

全国で実際に校友として住所的にも把握されている校友の数は先に記した数字ですが、このなかで福岡県の場合は現在「五千二百七十五名」が大学と校友会に記録されている同数の数字であり、この数字をもとに千八百万円が会館建設に当たって期待されている寄付金の数字ですが、現在はまだ三十一%に当る五百六十八万円しか集まっていないのが実状です。そこでどうか校友各位の会館建設への御協力を全国校友会の相談役でもあります関係から、あらためてお願い申し上げます次第です。

“三月十七日に明大マンドリン演奏会”

さて校友会福岡市支部の大きな課題はこれまで三年おきに福岡市で行ってきた明大マンドリンクラブの演奏会のことです。

二年前に全国校友福岡大会を引き受けた関係でマンドリン演奏会の年ではあったのですが、これを実行するとなれば、またかなりの経費を必要とすることになり、永い歴史を持つ演奏会ではありますが、この際“ひとまず中止”にしようということになっていたのです。しかし、新年を迎えるに当たり、このほどあらためて市支部幹部会で検討しました結果、明大マンドリンクラブは明大が生んだ永久に名高い“昭和の歌謡曲師古賀政男大先輩”の情熱と努力によって誕生した伝統あるクラブである以上「どんなことがあっても続けてゆかなければならない」という意見で全員一致、来る三月十七日福岡市中央区天神一丁目の須崎公園内にある福岡市民会館でこれまで通り全力をあげて実施することに決定致しましたので、校友各位のご理解と御協力をよろしくお願い申し上げます次第です。



明治大学校友会
福岡県支部長

古賀愛人

(昭和18年・24年・政経学部卒)

大名総合法律事務所

弁護士 岩崎明弘

(昭和34年・法学部卒)

事務所 〒810-0041
福岡市中央区大名2丁目2番26号
親和ビル3階
TEL (092) 781-0019番・781-0025番・771-1967番
FAX (092) 781-0102番・771-1967番

愛知全国大会報告

平成17年9月11日、第41回全国校友大会が「愛・地球博」で賑わう名古屋のウエスティンナゴヤキャッスルを会場に開催され全国から約1350名の校友が一堂に会しました。大会旗入場で始まった式典は今尚、熱き明大魂で語る青木会長の挨拶などで盛り上がり、記念イベントでは現役グリークラブの爽やかな歌声（普段歌



ナイスガイの星野仙一さん

ってる校歌と同じ歌とは思えない!)に聴き入り、男気ある星野仙一先輩(実物もナイスガイでした!)の講演に聴き惚れている内に

あっという間に時間が過ぎていました。

特に星野監督には大学時代からプロ入り、中日から阪神への監督移籍、阪神での監督生活、巨人軍監督去就問題など、常に熱く、周囲に温かい監督の生きてきた道を語って頂き、まさしく全国大会に参加してたからこそ聴けた非常に感慨深い講演でした。

続く懇親会では、目の前の荘厳な名古屋城を眺めつつ、ご当地のご馳走等を舌で楽しみ、「名古屋ど真中祭り」なる初めて日にする演舞や、イケメン団長率いる現役応援団の応援等のアトラクションに会場は沸きました。去年の福岡大会から火がついた(?)応援団OBによる“明大節”は今大会にも引き継がれ応援団愛知支部OB



津島校友の音頭で校歌斉唱

の方を始めとする“明大節”で会場は更に盛り上がり、最後は、支部総会同様、校友全



「愛・地球博」の目玉、マンモスの骨

員肩を組み交わし大きな輪となって校歌斉唱し、今年も大盛況の内に全国大会は幕を閉じました。最後の校歌斉唱の際は愛知支部の若手(?)の方に「一緒に歌いましょう」と声をかけて頂き肩を組み交わしたのですが、もう少し早く声をかけてもらえていたらもっと交流できただろうと少し残念に思いました。

去年は開催地としてもてなす側、今年は気楽に参加する側と2年続けて参加しましたが、それぞれの立場でしか見えない事があると実感しました。とりわけ思っていた程、他支部と交流できなかったという事は今後の私達の課題にしたいと思います。やはり事前の根回しというか準備が必要でした。次回開催地は栃木です。また参加できるかどうかは分かりませんが今回の経験を今後の活動に少しでも活かしていきたいと思えます。

皆さんも機会があれば是非一度全国大会にも参加してみてください。

(平成元年 法卒 高野礼子)

(平成4年 経営卒 今井葉子)



「愛・地球博」、シンガポール館の前で

明治大学マンドリン倶楽部演奏会のお知らせ

校友会福岡市支部では、来る3月17日（金）に明治大学マンドリン倶楽部の演奏会を福岡市民会館で開催いたします。

ご存知のように、マンドリン倶楽部は、国民栄誉賞に輝いた故古賀政男先生らによって創設され、以来80有余年の歴史を誇っております。国内はもとより海外においても演奏会を開き、洗練されたハーモニーや哀愁に満ちたマンドリンの音色で、多くの方に感動をお届けしております。最近では、女性部員の加入により、部員数も増え、よりダイナミックなサウンドになって聴衆を楽しませていきます。

今回の演奏会は、先の福岡西方沖地震被災者支援のチャリティーコンサートとして、支援活動にも協力いたします。

春の一夜をマンドリンの音色とともに、青春の1ページに思いをはせてみてはいかがでしょうか。どうぞ多くの校友の方々のご出席をお待ちしております。

【月 日】 平成18年3月17日（金）

【場 所】 福岡市民会館

【開 場】 午後6時

【開 演】 午後6時30分

【入場料】 2,000円

チケットのお申し込みは

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目1-2
セントラルホテルフクオカ（担当：末次）



校友会報告

— 校友会2006年度事業計画 —

校友会は大学と連携を取り、母校の発展翼の為に次の事業を行います。（2005年12月校友会本部員会議にて）

1. 「明治大学教育振興協力資金」の募金推進

校友会館建設は、校友会の長年の懸案であったが、大学が旧小川町校舎跡地に巨額の経費を投じ、建設中で、2006年11月完成の予定である。大学の校友会に対するご厚意に報いるべく、大学の教育研究支援に向け「明治大学教育振興協力資金」に募金協力して行く。各支部の募金目標（福岡県支部1800万円）達成にご協力をお願いしたい。

2. 支部総会開催支援

校友会組織改革の認識と母校支援の徹底の為、総会開催案内を県支部全員に案内送付する支援をする。

3. 全国校友大会開催

全国校友大会開催は大手私大では明治大学が唯一であり校友会活動の中心事業として推進して行く。

2006年9月24日 橋本大会
(2007年11月4日 広島大会) (2008年秋田大会)

4. ホームカミングデー協賛

ホームカミングデーは大学主催で実施され、校友会が協力する形がとられている。多くの協賛をお願いしたい。

2006年10月は、対象卒業年1956年・1966年・1976年・1986年・1996年である。

5. 校友会奨学金制度

2004年度に創設され、校友会が給付奨学金を提供し、大学で選考基準・方法・支給方法が決定される。2006年度は2800万円を予算化する。

6. 校友会120年史編纂

2006年校友会創立120周年を記念し120年史を編纂発行する。（2009年完成予定）

7. 卒業生への記念品贈呈

大学ロゴマーク入りMDケース付き校歌MDを卒業生に記念品として贈呈する。

8. 支部公開講演会開催

全国各地で大学派遣の本学教員による公開講演会を開催し地域社会の貢献と大学PRを目指す。3年に一回程度を県単位で開催する。

9. 校友会リバティール・アカデミー寄付講座

寄付講座（平成塾21・eゼミナール）をさらに充実させ、定着させる。

10. 入試相談室・就職相談室・法律相談室等の実施

支部の実情に応じて実施し、経費を補助する。

11. ホームページの新規充実

校友会からの情報提供を通じ、OBと大学の交流と連携を図っていく。

12. 広報活動

- ① 「明治大学広報」を活用した校友会特集
- ② 「校友会ニュース」メールマガジン形式を検討中。

13. 大学創立125周年・校友会創立120周年記念式典

校友会創立120周年記念式典2006年12月15日（土）リバティールホール（予定）、大学創立125周年であるので、大学と共催として開催したい。

14. 校友会本部移転

校友会館完成に伴い、校友会本部を会館内に移転し、46万人校友の中心的活動拠点としていく。

明大健児の心意気「筑前会」のはなし

戦後の昭和20年代後半に、福岡出身の明大生やOBらが中心になって「筑前会」なる組織があった。その筑前会の活動では、昭和28年の大水害の時は、明治大学校友会として被災地に救援に出かけている。また、昭和29年には、それまで東京でしか行われてなかった校友大会を初めて地方（福岡市）で開催し、現在の各県で行われている全国校友大会の形を築いている。

その筑前会について、上月武志先輩と今は筑豊在住の黒岩晃太郎先輩に話を伺った。

昭和26年頃、井手先輩、林先輩といった応援団の先輩を中心に、筒井、野上、箱田、小金丸といった先輩方や同級生が、夏休みや冬休みに博多駅で明治の学生（当時はほとんど角帽と学生服だったのですぐ分かったそう）をつかまえて、「東京や福岡で連絡を取り合おう、コミュニケーションを図ろう」と呼びかけ、そのうち「みんなで集まって何かしようや」となったそうである。その結果、中洲の大洋映画館の地下でパーティーなどをしていたそうである。そういった活動をしている時、その28年の大水害である。誰からともなく「我々明大の学生で支援活動しよう」という声上がり、トラック2台に明治大学の横断幕を下げて、救援物資を県下の被災地に持って行く等の救援に出かけている。筑前会という名前はその時できたらしい。時の国務大臣の大野伴睦先輩もその活動に感激し、筑前会の労をねぎらわれたそうである。

そして昭和29年には、全国校友大会を大博劇場で開催している。前述のように、地方での全国大会は初めてだったが、大盛況だったらしい。終了後の打ち上げを、旧博多駅前の「久屋」という旅館でにぎやかにやったそうである。

筑前会での活動はその後昭和30年代前半まで続いたそうだが、東京まで行くのに汽車で一日がかりで行っていた頃で、同郷意識は強く、先輩後輩や仲間同士の関係が大変濃かった時代だからできた活動といえるだろう。当時の学生や卒業生たちのまに「我々が健児の心意気をばしるや」である。しかし、その思想というか考えは、今の福岡の校友会の中にも脈々と流れているし、今後も持ち続けていきたいものである。

編 一本田博志

<昭和28年の大水害>

「昭和28年西日本大水害」と呼ばれる。昭和28年の梅雨は平年より半月も早い5月下旬に始まり、梅雨明けも7月20日ごろまで続き、特に6月下旬の集中豪雨は25日、26日で300ミリ前後になり、北部九州全体で死者・行方不明者が約1200名の大災害になった。

<大博劇場>

大正9年、博多区上呉服町（当時は上東町）にオープンした劇場。大正11年アインシュタイン博士が来日した時の講演会場にもなっている。戦後は歌舞伎や映画などで賑わい、福岡市最大の娯楽の殿堂とよばれていた。



Hondaの部品・用品の卸・販売会社

株式会社 ホンダパーツ西南

代表取締役社長 佐々木 義宣(昭和37年文学部卒・柔道部OB)

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12

TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・宮崎・鹿児島・山口

東の会

毎年一足早く行われる忘年会という感覚で「東の会」が今年も11月28日に開かれました。この東の会は1986年に発会され、既に20年になるんだそうです。

昨年は校友会の全国大会が福岡で行われたこともあって開催されませんでした。今年も東区にある安永富士男先輩のうなぎ料理「六騎」で賑々しく開かれました。

とびっきりの御馳走とアルコールを胃袋に納めたところで、経験豊富な諸先輩方から学生生活時（40年～60年前！）の貴重な昔話を聞くことができました。先輩達は授業に出席されてなかった（聞き違えてましたら御免なさい）ということをお詫言われていましたが、社会に巣立られてからというもの、立派な貢献を果たしてこられている面々なのです。私もすっかり安堵の念を覚えたのは言うまでもありません。

この「東の会」に今年も衆議院議員の松本龍先生にご出席いただきました。先生は御茶ノ水にあった

もう一つの大学、中央大学出身者であります。明治大学出身のお父様故松本英一先生との縁で、この「東の会」に参加していただき、散会時間の最後まで同席され、明治大学校歌を声高らかに歌われていました。

さてこれでお開きとなるのですが、数台のタクシーを呼び寄せられ、先輩達はさっそうと二次会に繰り出したのは言うまでもありません。若い、元気なんです。

（昭和52年 政経卒 城戸武文）



声高らかに、肩を組み校歌を歌う

南の会

南の会（野間支部？）の盛大なる忘年会

談論風発、百家争鳴とはこんな事を言うのか…と思われんばかりの盛り上がりには、まさに世話人冥利に尽きるものでした。

暮れの12月2日、近くに住む酒好きの校友が集まり、一献傾けたときの様子を表現したものです。総勢12名。

峯重先輩の音頭で始まった宴会は、飲むほどに酔うほどに話題は多岐にわたり尽きることがありません。フト、気がつけば約3時間経っていました。

店のママさんに依れば明大の皆さんは少々飲んでも品がイイね・・・と。これは客に対するお世辞と、モウひとつは江田島で培った峯重先輩の行儀の良さ、更にスポーツで鍛えた 男 神永氏の、あの豪快な

飲みっぷりに美人ママさんが感動したからでしょう。

この日、安永富士男先輩から多額の御芳志をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

なお、店（春さん 562-2323）には校友のために焼酎3本キープしてありますので、ご自由に呑んでください。

（昭和34年 法卒 清水保一）



あっという間に過ぎた3時間でした

ダイニッカ株式会社
市場開発本部 九州地区担当

取締役 **内田 紀生**
(昭和40年・法学部卒)

〒813-0062
福岡市東区松島3-3-5
TEL (092) 621-1631 (代)
FAX (092) 621-1635

明宅会

イースタン産業(株)

代表取締役 **野口 順四郎**
(昭和41年・法学部卒)

福岡市東区多の津4丁目8-1
TEL (092) 611-4423
FAX (092) 611-4572

活魚料理 食事処

杉庵

会長 **上杉 鷹雄**
(昭和33年・商学部卒)

〒813-0062
福岡市東区松島3-16-11
TEL 6 1 1 - 7 2 8 4

明志会

その1 教養?情報交換?やっぱり飲み会

「飲み会もいいが、たまには真面目な話を聞いて教養を身に付け、ビジネスの情報交換ができる場が欲しい。しかしそこは明治らしく酒を酌み交わしながら個々のつながりがさらに強固になるような場」というある先輩の贅沢な(?)注文を受けて、一部有志が福岡在住の明治大学OBによるビジネスマンのための勉強会&交流会「明志会(めいしかい)」を発足させたのは今年五月。九月五日に第三回を開きました。過去のゲストは政治家、脱サラ社長、今回は初のOB講師を迎えました。講師は田中耕・西日本新聞社運動部次長(平成二年卒)。田中校友は社会部記者を経て運動部へ転属。アビスパ、ホークスを担当した後東京支社へ。小嶺忠敏国見高校サッカー部総監督のサッカー、教え子に対する情熱を描いた「小嶺忠敏 情熱サッカー」主義(西日本新聞社刊)を上梓したばかり。話は小嶺監督の選手育成の秘密など興味深い話題でした。(9ページ参照)

講話の後、矢谷学校友会事務局長からマンドリン演奏会開催への協力をお願いなど校友会の活動の報告をいただき、局長の乾杯の音頭で宴に入りました。いつもの和気あいの雰囲気ではそこかしこで談笑の輪ができていました。いつもは四十代

から三十代の参加者がほとんどですが、本田、佐藤先輩も出席いただき世代間の交流もできました。

今後も二カ月に一回のペースで開きたいと思いません。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

その2 14代目主人の「酒のうんちく」に耳を傾ける

第四回の明志会は11月7日に開かれました。ゲストはOBの林田浩暢若竹屋酒造場社長40歳。創業は元禄時代、305年間も続く造り酒屋で林田校友はその14代目にあたります。当日は林田校友のご好意で持ってきていただいた自慢のお酒をちびりちびりやりながら、「酒の文化・うんちく」に参加者全員耳を傾けていました。

(昭和59年 政経卒 松本靖朗)



国見高校サッカー部 小嶺監督を熱く語る田中校友

明福ゴルフ会

第29回明福ゴルフ会が、去る12月6日麻生飯塚ゴルフクラブにて予定されておりましたが当日の大雪により、急遽取り止めになりました。しかし、携帯電話により連絡がスムーズにいき、大きな混乱はありませんでした。夜の忘年会ですがゴルフがなかった為か、それとも女性校友二人の参加もあつてか、諸先輩方は元気一杯でいらっしやいました。今井さん、杉山さん、華を添えて頂いてありがとうございました。今回はゴルフ中止というハプニングがありましたが、次回はゴルフも宴会

も楽しみたいと思っております。



ゴルフはできなかつたけど、宴会は盛り上がりました

第42回駿台ゴルフ会

11月8日、大牟田支部の担当で第42回駿台ゴルフ会が玉名CCで開催された。

4組16名の予定であったが、当日飛び込み参加があり、5組17名でプレーを楽しんだ。

福岡市支部からは5名が参加した。発足当時は60名を超える参加者であったが、17名とは淋しい限りである。皆様のご参加を是非お願いします。

玉名CCは大牟田支部山崎一正校友が社長を務め、5月に日本プロ選手権が開催された名門コースで、距離はたっぷりあり、グリーンも大変難しく、皆ス

コアメイクに苦しみながらも、紅葉は美しく、良く整備されたコースを堪能した。

プレー終了後、倶楽部ハウスで表彰式を行い、ゴルフをされないのに高橋大牟田支部副支部長がおいでになり、挨拶を頂いた。

参加賞は、荒尾名産のジャンボ梨、それに玉名CC山崎一正社長のご好意で、日本プロ選手権の記念キャップをいただいた。

東京六大学対抗ゴルフ会報告

金澤 昭彦

11月12日(土)、恒例の東京六大学対抗ゴルフ会が、麻生飯塚ゴルフ倶楽部で開催されました。当日は前日の雨が嘘のような晴天となり、絶好のゴルフ日和でした。各大学から腕に覚えのある85名が、母校の名誉のために懸命のプレーを繰り広げました。大会はダブルペリア方式で行われますので、確率からして多数の参加者がいる大学が上位となります。よって、成績の結果は以下のようになりました。一位：法政大学(参加者21名)、二位：東京大学(17名)、三位：立教大学(16名)、四位：明治大学(11名)、五位：慶応大学(10名)、六位：早稲田大

学(10名)。来年は第10回の記念大会となり、我が明治大学が当番幹事となります。明治はまだ一度も優勝がありません。何としても来年は優勝を勝ち取りたいと思います。そのためには、腕もさることながら、多数の参加者で試合に臨むことが優勝への近道となります。皆様のご参加を切にお願いいたします。なお、当日は幹事である立教大学の企画で、チャリティー募金が行われました。校友の安永富士男さんが、ご自分の賞金をチャリティーされましたことをご報告いたします。

(昭和50 工卒 善 敏治)

春日野部屋激励会

今年も早、納めの場所となりました。巷では朝青龍の史上初の7連覇なるか、琴欧州の最短の大関誕生なるか等、話題に事欠かない場所となっております。我々校友有志も11月1日校友の春日野親方を囲んで部屋力士の活躍を祈願し、激励会を開催しました。今回は怪我で幕下まで番付を下げながらも、日々の精進により、十六場所ぶりに幕内に返り咲い

た元三役、栃乃花関に出席して頂きました。小石原先輩、上杉先輩のお二人に特別のエールを送って頂き、激励会も盛況の内に終わりました。来年も益々の発展を望み、激励会を開催致します。奮っての参加を期待しております。来年お会いしましょう。

(昭和60 政経卒 赤壁幸哉)



栃乃花関を囲んで



春日野親方に全員でエールを送る

TOCHI NO HANA
栃乃花



この九州場所で見事、敢闘賞受賞の栃乃花関

藍綬褒章 ～萩尾 政明さん～



秋の褒章で、昭和33年法学部卒の萩尾正明さんが藍綬褒章を受章された。藍綬褒章は、地方自治や福祉、社会奉仕をはじめ、産業やスポーツの振興など長年にわたって尽力された方に与えられるものだが、萩尾さんは1985年から20年にわたり調停委員を勤めてこられた。本業は福岡市中央区で司法書士の仕事をされておられるが、同業の先輩の推薦で始められ、いつの間にか20年経っていたとの事。まさに「この道一筋」である。

調停委員の仕事は、裁判になる前に申立人の話を聞いてトラブルを取めることだが、一般事件のほか、特にサラ金事件や貸金・資金の返却事件などがバブル崩壊後多くなってきたとの事。対象の金額が100万円以下なので件数も多いが、解決できる割合も裁判よりは多いようだ。「やはり問題が解決したときが何よりもうれしく、やりがいを感じるね」と話された。

以前は校友会の幹事もされていたが、体調がややすぐれないため今はなかなか出てこれられないので、皆様によろしくと話された。

校友の著書 ～田中 耕氏 (平成2年 政経卒 西日本新聞社 運動部次長)～

「小嶺忠敏 情熱サッカー主義」

島原商、国見高校を全国トップクラスのサッカーチームに育て上げた小嶺忠敏氏のルポです。小峰氏担当記者を務めた筆者ならではの視点で「小峰教育」を解説しています。「鴻鵠の志」「礎を築く」「創意工夫」「前へ前へ」「限りなき挑戦」の5章で構成。母校から国見高校へ移った理由、恩師との出会い、指導信条や選手育成術など、これまで報道されていない逸話も盛り込んだ力作。

小嶺 忠敏
情熱サッカー主義

著：田中 耕氏
定価 1,500円



武雄山関を囲む会



千秋楽打上げパーティーにて。緒方・武雄山関・今井・矢谷

平成17年11月5日西中洲の「なな草」に於いて平成9年政経学部卒・愛知県出身武蔵川部屋「武雄山関」を囲む会を、今年も関取と同年代の校友を中心に開催しました。

九州場所は十両6枚目に下がってしまったので、早く幕内に復帰するよう頑張りたいと皆で激励しました。閉会後は、武雄山関と共に中洲に繰り出して、二次会では、武雄山関をはじめとして、明大校友によるカラオケ大会となり、大いに盛り上がりました。

残念ながら、九州場所は負け越してしまいました。11月27日の千秋楽打上げパーティの席で、武雄山関は、同じ明大出身の春日野部屋「橋の花関」が怪我を克服し、幕内に返り咲き、見事に敢闘賞を受賞したので、来年は稽古により一層精進し、必ず幕内に復帰するとの固い決意を示してくれました。正攻法の相撲を取る、真面目な武雄山関ですので、校友の皆さん応援をよろしくお願い致します。

「目は高く心は広く頭は低く」を心がけ、人生の主役は自分であり、最大の敵も自分であることを肝に銘じ、全力で突っ走ろう！

一昨年4月、福岡大学を定年退官された体育学部名誉教授の峯重新二郎先生を今回の校友クローズアップに取り上げた。峯重先生は大正15年の福岡生まれ。江田島の海軍兵学校で終戦を迎えられ、25歳で明治大学に入学。戦後の剣道復活に力を注がれ、関東学生剣道連盟の初代委員長、戦後の明治大学剣道部の初代監督などを歴任。昭和45年帰福、福岡大学で教鞭をとられ、剣道部、ラグビー部の監督を歴任され、昨年定年退官された。……

江田島海軍兵学校 そして明治大学へ



海軍兵学校入学当時の写真

昭和18年4月江田島の海軍兵学校に入学。「軍服がカッコよくてね」。兵学校では、心身とも徹底して鍛えられた。戦況は厳しかったが「神風が来て日本は必ず勝つと本心から思っていた」そうだ。20年8月6日の広島原爆の日、今だにあのエノラゲイの爆音が耳に残っていると話される。

戦後、復員して6年程実家の会社で仕事をしていましたが、手を怪我して当時の金で10万円の労災保険が手に入った。「これが自分の大きな転機だったなあ」と話される。その大金を持って昭和26年東京に上京。ちょうど弟さんが明大の専門部にいたので、自分も3年に編入。実家の会社で労働争議が起きている時期だったので、労働法を勉強しようと松岡三郎先生のゼミに入った。「当時、旧軍人は世間からは右翼と思われていたが、それが左翼の労働法を勉強したいというのだから、松岡先生もびっくりされただろう。しかしちゃんと受け入れてくれてね、懐の大きい先生だったなあ」と懐かしそうに話される。

そして同時に「剣道復活運動ののろし」を上げたそうである。剣道は小学5年からやっていたが、剣道復活の思いを明治の先輩方に訴え、応援していただき、関東学生剣道連盟の委員長になって、早稲田、慶応、東大、京大、法政やそのほかの大学をまとめて大会を開いた。そのために持ってきた10万円を使ってしまうと、スッカラカンになってしまった。なんとも豪快な使いっぷりである。

ラグビーの北島忠治監督との出会い

昭和26年当時、剣道場は全部ボクシング場やレスリング場になっていて使えなかった。そんな頃、北島監督が本校の地下にあったラグビー部の部室を全部くれたそうである。「太っ腹な人だったよ。それが思さんとの出会いだったな。」

翌昭和27年正式に剣道復活になり、大学も剣道をはじ

め他のスポーツを正課体育に取り上げた。しかしちゃんと教える者がいないので各運動部の監督が教員になり、教えることになった。その親分がラグビーの北島監督で、他に相撲の滝沢さん、ボクシングの永松さん、レスリングの水谷さんなどがおられた。大学院でさらに法律を勉強しようと思っていた4年の時、北島監督が「大学院に行ってもいいから、嘱託で学校の正課体育を手伝え」と言われ1万円を下さったそうだ。「家から飛び出したものだから仕送りはなく、持ってきた10万円も使い果たし、苦しい生活をしていただけに本当にありがたかったなあ」と目を細められる。松岡三郎先生のところで大学院2年間お世話になった後、北島監督から大学に残れといわれ、晴れて明治大学の教員になった。

アメリカ留学そして福岡へ

そして昭和33年アメリカのロングビーチ大学に留学させてもらった。アメリカでお世話になった方が、戦前の日本にも留学経験のあるドクターゴードンという方。剣道の愛好家で、奥さんは当時アメリカに3人しかいないといわれたコマンダー（海軍大佐）という家に2年間お世話になった。とてもすばらしいご夫婦で、大変な努力家だったそうだ。海軍のパーティー等にも招待してくれ、多くの人に紹介してくれた。アメリカでも剣道は盛んだったが、そこでも優勝したこともあった。

昭和40年頃から実家に帰って来いといわれていたが、とうとう昭和45年帰らざるを得なくなった。学校は学園紛争の時代だったが、自分はこれから上り調子の一番良い頃であり、残念ではしかなかった。

その後、福岡大学で昨年まで体育学部の育成に力を尽くされてこられた。……



80才とは思えない元気いっぱいの峯重先生

背筋をピンと伸ばし、話も軽やかでエネルギーッシュ、とても80歳には見えぬほど若々しく、情熱家でありながら謙虚で、海軍のジェントルマンスピリッツとはかくありなと思われる。また話の内容も宇宙規模の物理学から、人間の歴史（歴史的な数字をスラスラ話される）、現在の国際政治や人生論というように、幅広く教養に富んでいて、偉大な先輩の營咳に接することができたインタビューだった。最近の風潮をモノで榮えてココロで亡ぶと危惧され、今こそ「哲学への回帰、真の大人への回帰、伝統文化の再活性化」と唱えられる。冒頭のことば「目は高く……」は峯重先生が全日本学生剣道連盟五十周年の記念誌および明治大学剣道部創部百周年の記念誌に寄稿されたことばであり、感銘を受けたので紹介しました。

編一 本田博志

明治大学教育振興協力資金協力者

福岡市支部分 (校友課作成・平成17年10月31日現在)
ご協力有難うございます。

募集期間が延長されています、ご協力をお願い致します。

安部通明	【37商】	荻原弘章	【33法】	鷺山陽一	【35商】	樋口昌久	【40政経】
石橋哲理	【48工(50工)】	奥南克彦	【29法】	塩崎正臣	【30文】	津川重利	【33法】
井上以和雄	【31商】	加藤義巳	【31政経】	善敏治	【50工】	細川政春	【32法】
今久留主邦明	【49政経】	川口和隆	【37経営】	田島隆信	【37政経】	松本優三	【56商】
岩田憲明	【39工】	桑原邦芳	【41政経】	田中幸徳	【39商】	武藤健二	【33法】
上杉鷹雄	【34商】	小石原英照	【27商】	中野正徳	【36政経】	安永富士男	【30商】
上田幸俊	【34法】	古賀愛人	【18経(24経)】	中村衛助	【32文】	矢谷学	【50法】
大家芳治	【35法】	小金丸寿一郎	【34商】	成瀬伸哉		山田常男	【32商】
大隈一臣	【30法】	小松和夫	【H04工】	西嶋宏治	【32文】	山田邦彦	【33商】

平成17年度福岡市支部年会費納入者

ご協力有難うございます。(平成17年11月末現在)

相愛	【38政】	大國	【39政経】	坂本	【16商】	塚本	【H09政】	本牧	【52法】	田博志	【176商(176商)】	志甫	【36商】
浦葉	【H07政】	原田	【140政経】	嶋山	【31法】	土常	【129政経】	牧原	【31商】	博志甫	【36商】	陽一	【31商】
青木	【28商(大)】	岡田	【24政経】	嶋山	【39商】	友延	【143商】	正松	【51政経】	原一	【36商】	祐考	【36法】
赤壁	【60政経】	岡田	【60法】	佐々木	【37文】	島井	【41商】	松尾	【38法】	井尾	【51政経】	善爾	【36法】
朝山	【33政経】	緒方	【34商】	佐藤	【30商】	長井	【49商】	松尾	【28商】	尾野	【51政経】	晴夫	【56商】
穴井	【39商】	岡本	【13商】	貞藤	【48政経】	中津	【33政経】	松尾	【56商】	岡本	【59政経】	孝三	【60法】
安部	【44商】	小川	【33法】	佐藤	【30工】	野成	【31法】	松尾	【37政経】	山本	【62政経】	一郎	【34法】
安有	【137政経】	小野	【28政経】	嶋山	【34法】	中野	【32文】	松尾	【34法】	三井	【H04商】	成隆	【48政経】
飯田	【32(54)政】	小野	【19商】	白川	【40政経】	野口	【41法】	光三	【29政経】	美奈	【38政経】	新一	【28法】
伊生	【21法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	美奈	【37文】	三野	【35工】	良助	【35商】
池田	【61政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
池田	【81(82)政】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
石井	【51政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
井手	【49工】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
伊藤	【32法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
伊藤	【43政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
伊藤	【57工】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
井上	【36法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
井上	【46商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
井上	【46政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
井上	【137商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
今久留主	【49政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
今久留主	【49政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
入江	【28商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【34法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【35政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【48商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【109政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【34商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【30商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【36商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【33法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【40法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【33法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【54政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【32商】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【35法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【44政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【35政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【40法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【37法】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【33工】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【37政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】
岩崎	【35政経】	小野	【140工】	白川	【44政経】	野口	【33政経】	三野	【35商】	武藤	【49商】	健二	【11商】

明治集合!



- 日時 平成18年1月25日(水)
午後6時30分
- 場所 セントラルホテルフクオカ
(福岡市中央区渡辺通4丁目1-2)
TEL (092) 712-1212
- 会費 男性 5,000円
女性 4,000円

当日は豪華景品の当たるクイズや楽しいアトラクションを予定多数の校友のご参加をお待ちしております。

編集後記

謹んで新年のお喜びを申し上げます。支部だよりの17号をお届けいたします。

今回は特に校友会の中のいくつかのグループの活動を紹介しました。若手の明志会、ゴルフの会、東の会、南の会etc...明治の名のもとに先輩後輩が集い、ともに飲み、語り、何かをする、まさに校友会の醍醐味でしょう。また、クローズアップの峯重先輩や藍綬褒章の萩尾先輩など立派な先輩方の話を伺うと、あらためて自分も明治の校友でよかったなと思います。来る3月17日(金)には7年ぶりのマンドリン倶楽部の演奏会が福岡市民会館で行われます。ぜひ成功させて、ま

みなさんで勝利の美酒を飲みたいものです。いつもながら広告を掲載していただいております校友の皆様には厚くお礼申し上げます。平成18年の校友の皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、これからもより一層充実した紙面づくりに努めますので、今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

編集委員長	本田 博志 (昭52 法)
委員	佐野 貞和 (昭59 工)
"	緒方 弘臣 (昭60 法)
"	三井 成隆 (平4 商)
"	今井 葉子 (平4 営)
事務局	矢谷 学 (昭50 法)
"	高野 礼子 (平元 法)

機能だけではなく、
快適という基準
今からのまちに必要だと思う。
誰もが感じる気持ちよさ
これからのいろんなところで
カタチにしていきたい。



いつも人が
発想の原点。